

# 上部尿路結石症に対する治療法の最適化に関する研究のお知らせ

帝京大学ちば総合医療センターは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年8月26日～2025年3月31日

## 〔研究課題〕

上部尿路結石症に対する治療法の最適化について

## 〔研究目的〕

上部尿路結石症に対する様々な手術治療法における治療効果や手術合併症を明らかにすることによって、どのような症例にどのような治療法が適切であるか調査する。

## 〔研究意義〕

近年、医療機器と手術技術の進歩によって経尿道的尿路碎石術(Transurethral Ureteral Lithotomy:TUL)や経皮的腎碎石術(Percutaneous nephrolithotomy:PNL)などの内視鏡手術が、その有効性の向上や安全性の改善により、選択される症例は増加しています。一方、以前より低侵襲な治療法として選択されていた体外衝撃波碎石術(Extracorporeal Shock Wave Lithotomy:SWL)は、減少傾向です。現在どのような症例にどのような治療法を選択するかは、施設毎にことなるのが現状です。そこで、当院での各々治療法での効果や安全性を解析することにより、症例毎に最適な治療法を選択する基準を策定します。

## 〔対象・研究方法〕

2010年4月1日から2021年3月31日の間に帝京大学ちば総合医療センターの泌尿器科において、上部尿路結石症(腎結石・尿管結石)と診断された患者さんのうち、手術療法を施行した患者さんを対象とします。

研究のデザインは、後向き観察研究となります。

調査するカルテ情報

- ① 手術前の身体的情報 (患者さんの年齢、身長、体重、BMI、血液型、全身状態、治療までの期間、既往歴、基礎疾患、腎機能、尿所見など)
- ② 手術前の結石に関する情報 (レントゲン・CT における画像所見:結石サイズ、部位、個数、CT 値、尿路所見など)
- ③ 手術療法の情報 (術式、使用機材、X 線透視時間、手術時間、術中内視鏡所見、麻酔方法、手術体位など)
- ④ 手術後の経過に関する情報 (治療効果、合併症、腎機能変化、入院期間、後療法など)

## 〔研究機関名〕

帝京大学ちば総合医療センター 泌尿器科

## 〔個人情報の取り扱い〕

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、患者さん個人を特定できる個人情報は削除し

て管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報を利用しません。

患者さんからご自身の情報開示等の請求は個々に対応いたします。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

#### 問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 帝京大学ちば総合医療センター 泌尿器科 教授 納谷幸男

研究分担者: 帝京大学ちば総合医療センター 泌尿器科 助教 芳生旭辰

住所: 〒299-0111 千葉県市原姉崎 3426-3

TEL: 0436-62-1211 (代表) [内線 5359 ]